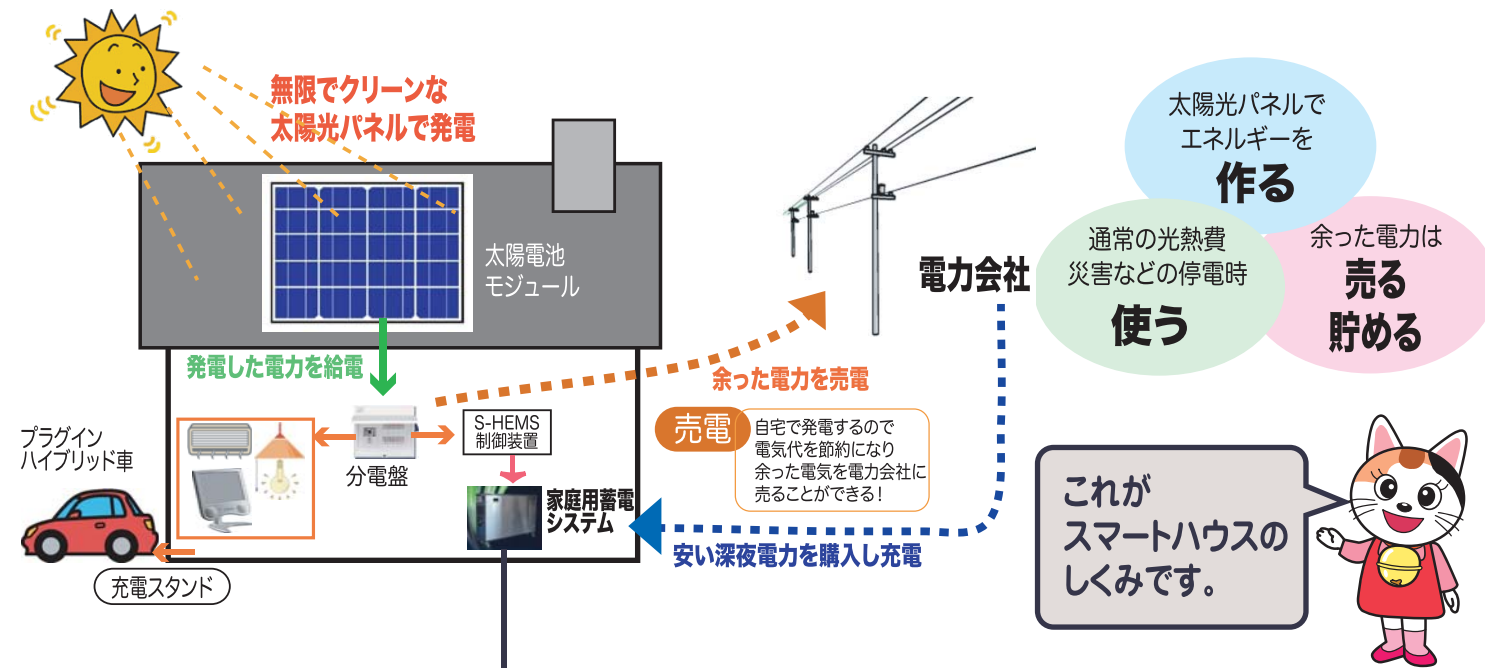


スマートハウスは電気のエネルギーを自給自足できる、賢く画期的な次世代住宅です。 光熱費^①を達成し、災害時の停電の心配から解放します!!

■ 電力を貯めて使うから省エネで経済的!

昼間に太陽光からつくった電力を蓄電池に蓄えておき、夜間などに使用。さらに、省エネ性能に優れた家電をネットワークでつなぎ、自動コントロールによって消費電力を制御。自ら電力をつくり、効率よく生活に活用することで、100%の電力自給自足を目指します。



家庭用蓄電システム

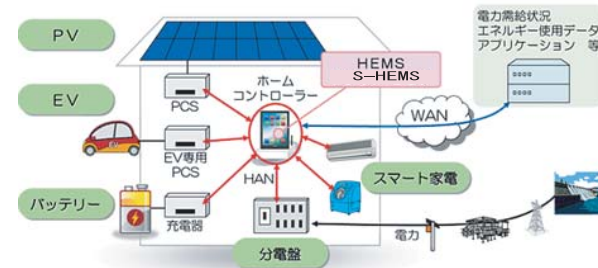


4,000Wh 出力AC100V15A (50/60Hz)
リチウムイオンを内蔵した緊急時
&ピークカット用エネルギーシステム
ご家庭、病院、コンビニエンスストアなど
停電対策や夜間電力の有効利用に

電池容量	4,000Wh	実際の使用可能電力とは異なります
出力電圧	AC100V(50/60)	スルーインバーター2系統で出力
1台あたりの出力電力	1,500W	1,000W+500W
1台あたりの出力形式	正弦波	
出力コンセント	1口500V/20A-82口	停電時は合計3口1,500W使用可能
入力形式	AC100V(50/60Hz)	

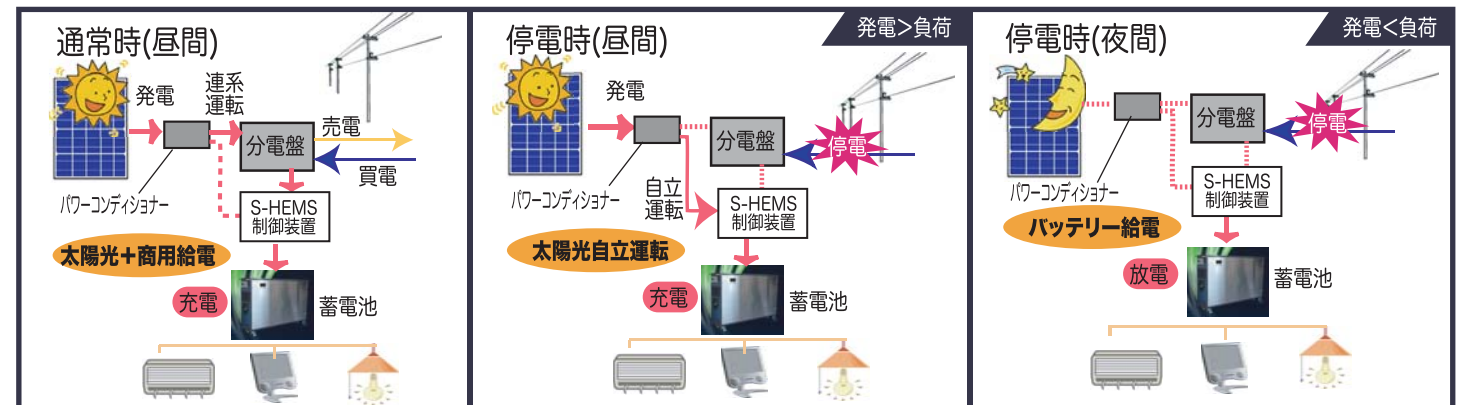
充電時間 約6時間 600W以上の入力の容量が必要
充電可能容量 600W~700W/時間 入力条件により異なります
使用温度範囲環境 0℃~45℃屋内使用 屋外での使用はできません
※デザイン、仕様は実際とは一部異なる場合がございます。詳細はお問い合わせください。

S-HEMS (スズコーホームエネルギーマネージメントシステム)



「ホームエネルギーマネージメントシステム」(S-HEMS)は上記のように、ホームコントローラー端末で内外の電気供給や電気自動車などを制御することができるようになるシステムです。それには、家庭のソーラー発電システムの管理や制御、および電力会社からの電気供給状況や家庭での電気使用状況の把握が含まれます。また、スマートハウスにはバッテリー(蓄電池)もあり、停電にそなえて蓄電池にあらかじめ電池をためておくことができます。また、日中にソーラーパネルで発電して余った電気を蓄電しておき、電気料金が安くなる夜の時間帯に充電しておくことも想定されている。つまり電気自動車の充電とスマート家電の電気供給が上手に制御されています。

■ スマートハウス(蓄電池付き太陽光発電)システムフロー



■ スマートハウスが実現する生活メリット

太陽光発電

キレイなエネルギーで暮らす

発電時にCO2を発生しないクリーンなエネルギー。太陽光をはじめとする、無尽蔵な自然エネルギーから得られた電力を生活に活用することで、低炭素社会を実現します。

電気自動車

蓄電池としても使える電気自動車

プラグイン電気自動車は、家庭用のコンセントで充電ができるため、ガソリン代を節約できます。「低炭素社会」の実現に向け、ガソリンを使用しない電気自動車は不可欠な存在。蓄電池としても利用できるようになります。

スマートメーター

電力の見える化が省エネを促進

各家庭の電力の使用状況など、スマートメーター(次世代型電気メーター)により「見える化」。ウェブサイトなどを通じて、分単位の情報を簡単に確認することができます。

家庭用蓄電池

暮らしを変える家庭用蓄電池

発電した電力を蓄えるエネルギー貯蔵庫として機能するのが、大容量の家庭用蓄電池です。余剰電力はどんどん蓄電池にチャージされ、夜間などの生活に利用できます。

省エネ家電

対話をしながら進化する次世代家電

優れた省エネ性能はもちろん、各家電が電力の供給状況などに合わせて稼働時間を自動で変更。最近、大きな話題となっているLED照明やテレビ、エアコンなどの家電が、ユーザーのライフスタイルやニーズに合わせて進化します。

外部操作

外出先から家電製品をコントロール

携帯電話(スマートフォン)で、消費電力や運転状況などをチェック。外出先からの遠隔操作によって、各家電や住宅設備のコントロールをすることも可能になります。

SMART HOUSE